

# 日中友好新聞

## 京都府連版

### 第329号

日中友好協会京都府連合会

〒602-8026 京都市上京区新町通丸太町上ル 機関紙会館ビル302号  
TEL&FAX 075-256-2764 nichukyoto.com info@nichukyoto.gr.jp



## 〈宇治支部〉 宇治散策の一日

### 源氏物語ミュージアム・宇治上神社・宇治神社

十月二十二日、快晴の中、宇治支部のメンバーを中心に約十名で宇治散策に行きました。十時に京阪宇治駅に集合し、本庄支部長より挨拶がありました。まず徒歩で源氏物語ミュージアムを訪ねました。源氏物語は次の大河ドラマというだけあって、午前中にもかかわらず多くの人が参観していました。中国人留学も参加していたので、中国の衣装や建物などの違いを聞くのが興味深かったです。日本の平安時代の男性の衣装は中国のものに比べると色が黒色が多いようです。江戸時代に

書かれた宇治に関する文章は、漢文で書かれていたので、中国人留学生に意味を説明してもらいました。光源氏の女性遍歴には留学生も驚いていました。

その後、徒歩で世界文化遺産でもある宇治上神社、宇治神社を訪れました。それぞれの神社ではボランティアスタッフの方に、神殿、拝殿、摂社、末社、湧き水、植物などについて丁寧に説明していただき、勉強になりました。その後、宇治川の塔の島で持参した弁当を食べながら、歓談をしました。宇治商店街は日曜日で快晴であったため、多くの人で賑わい、飲食店はどこも列をなしていました。中国語もあちこちから聞こえ、外国人観光客もたくさん来ていました。

(石田)



## CCTVと懇談

★十一月一日、中国中央広播電視総台の東京支局長可欣蕾様、記者の楊紅霞様の表敬訪問を受けました。コロナ禍が沈静化した今、全国に興味ある団体・個人に声をかけ訪問しているとの事。特に京都は興味があるようです。本部を通さず、京都府連の古いHPを見て、と連絡がありました。日中両国がお互いに「良くない」印象を持っているのが心配と。友好新聞・「府連版」を紹介しながら、中国が好き、もっと知りたいという人も多いので、さらに友好を深めましょうと結びました。あれこれ一時間懇談しました。宇野木会長・井手淑子理事・向田が対応しました。

(京都府連事務局長・向田美智子)

先日皆様と懇談することができまして、とても有意義に思います。中国と日本は共にアジアの重要な国であり、両国の友好はアジア乃至世界の平和にとって重大な意義を持ちます。日本と中国が再び戦うことのない相互理解と友好を深めるため、力を合わせ努力しましょう。

(中国中央広播電視台東京支局・楊紅霞)



# 二〇二三年日本平和大会 in 鹿児島

## に参加して 清水郁子

十一月十一日(土)・十二日(日)に鹿児島で開催された日本平和大会に参加しました。

ここでは学びと交流のつどい「日中と琉球の歴史から台湾問題を考える集い」と分科会「歴史認識問題、次世代にどう戦争を伝えていくのか」を中心に報告させていただきました。この2つは異なる企画ではあるのですが、相互に関係のある内容でしたので、それぞれに残った報告内容を紹介します。

上里賢一氏(琉球大学名誉教授)のお話からは、「宮古島は一九七二年の沖縄県の日本復帰前には米軍施設が二カ所あっただけであつたのが、復帰後は自衛隊施設が次々とつくられた。そして軍隊は住民を守らない。」「台湾のことは台湾が決める、沖縄のことは沖縄が決める、という考え方が重要。しかし、台湾には二千万人を超える華人が住んでいる事実がある。」という点です。

大西広氏(慶應義塾大学、日中友好協会)のお話からは、「台湾が『独立国』であるかのようになつてしまつた原因の一つは日本の五十年にわたる侵略であるので、日本人が台湾問題で発言する際は慎重になる必要がある。一方でこの事実は台湾が中国大陸(清朝)から見捨てられたことを意味しているので問題は複雑である。日本は、日本が琉球をどう扱つたのか(琉球処分、米国統治、日本復帰後の基地の集中)についての問題を解決してから台湾問題に言及する必要がある。」「軍事的緊張が高まると、日台韓フィリピンなどの東アジアの国々はアメリカ寄りになつていく。」という点です。

ていく。」という点です。

石山久男氏(歴史教育者協議会)のお話からは、「戦争したい勢力、戦争で儲けたい大軍需産業があり、そういう人々が政治を動かしているために、戦争の危機が煽られ、軍拡が進み、アメリカ本国と離れた場所で実際の戦争は起きる」という点です。

飯田光徳氏(日朝協会)のお話からは、「過去五百年間の北東アジアの国々の間で起きた戦争十四のうち、日本が仕掛けた、からんでいるものが十二あり、日本さえおとなしくしていれば北東アジアは平和、ゆえにアジアの民衆は憲法九条に熱いまなざしを注いでいる。」という点です。

これらの話を聞いて、頭の中を整理してみると次のようなことに行きつきました。

- ①軍事同盟を解消させ、国連を中心に世界の世論を示す様々な取り組みを進めていくことが非常に大切。
- ②国民レベルの平和友好運動を大いに進めることが平和構築にとって大切。
- ③日本国憲法九条を堅持することはアジア、世界の平和にとって大きな意味がある。

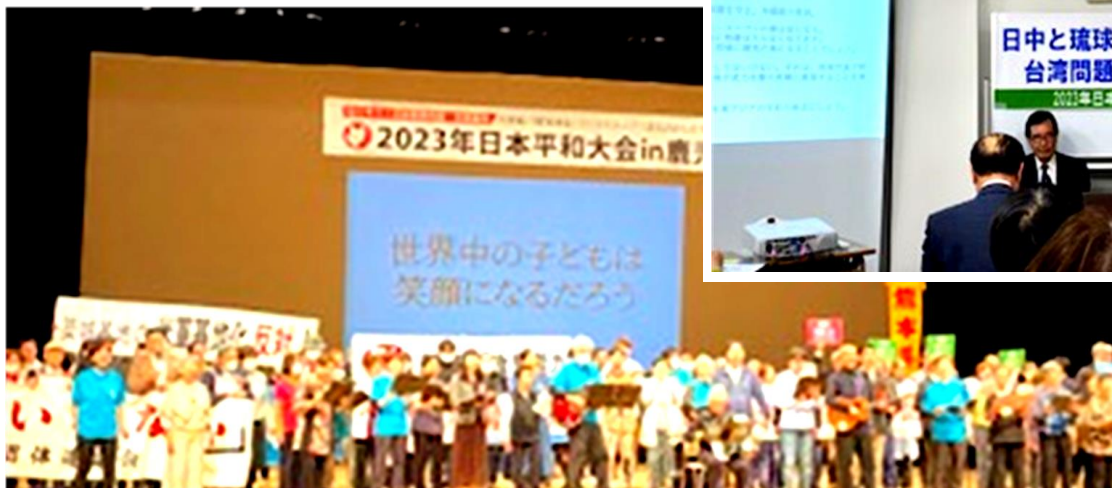


鹿児島といえば、、、

この三点は、日中友好協会の活動の中でも進めていくことができると思います。これからでもできることを少しずつであっても取り組んでいきたいと感じました。



学びと交流のつどい



開会集会

## 『繁花』聖地巡礼の旅(2)

蘇州から杭州へ

石橋美紀(中国語教室・火曜日受講生)

前回、上海市内の話を書いたが、今回は蘇州と杭州の話を書こう。

上海から、午前中の高速鉄道で約三十分。蘇州市はあいにく雨がちの天気だった。地下鉄に乗って滄浪亭へ。ここは九五六年に造られた蘇州最古の庭園で、小説『繁花』の中には、大人になった主人公たちがレストランで宴会の後、男四人で街を彷徨って、滄浪亭の前で夜明かしした、という記述がある。

広さ一万平米の園内へ入ると、建物の作りがとても美しかった。古木の根っこを利用したテーブルと椅子が見事であり(写真)、丸窓のデザインは一つひとつ意匠が凝っていて現代にも通じるアートである。庭を歩くと岩が洞窟状になっているし、黄色い竹林が珍しい。午後いっぱい、園内に座つてのんびり過ごした。

蘇州市のたくさん湖の一つ、石湖に出かけた。石湖景区という公園で、この地形に興味を持って確かめに行った。実は、私の郷里福岡市に大濠公園という周囲二キロの池がある。子ども時代にそこで遊んでいた私は、中の島から突き出した赤い屋根の浮見堂が中国風で、中国の庭園を真似したに違いないと思っていた。

その地形にそっくりの中の島を持つ石湖がここにある。確かめねば。

公園では市民マラソン大会が行われていた。池の

周囲には柳の木、ボート小屋もある。中之島には細長い白い石橋、丸い半円の石橋、そこに佇んだ私は、まるで大濠公園にいるような懐かしさを覚えていた。

ネットの百科全書で調べると、大濠公園は大正時代の東亜勸業博覧会に造成され、中国の西湖モデル説があるようだ。翌日、杭州の西湖へも行ったけれど、大濠公園と共通する景色は見当たらない。西湖と石湖の発音は似ている(日本語にすればシーフー)。西湖と石湖を間違えたのかもしれない、と私は自分勝手な新説を作ったのであった。

杭州市の西湖のそばで一泊し、一日西湖で遊んだ。ここはさすがに観光の街、湖の東側はホテルが多く街は賑わっている。バスでぐるっと回って、反対側の庭園を散策し、茶館を覗き、蘇堤に座って空と緑の景色を眺めた。観光客が多いとはいえず、湖はさらに広いため、混んでいるという感じはしない。白居易、蘇軾など昔の文人たちはこんなところで、詩を書いて遊んだのだろう。はるかな歴史を感じる。

(続く)

## 第五十一回学習・交流会の報告

前回に引き続き、大躍進運動と人民公社の急速な広がりを学びました。鉄鋼生産を一年で二倍にするために(土法高炉)で、全国六十万カ所、五千万人が動員されたという(五八年九月までに)。

農業でも深耕密植が奨励された結果、害虫発生など作物の収量を大きく減らすことになった。合作社から人民公社への急速な転換は、農業だけでなく全生活にわたる強制や、生産意欲の減退なども招いた。

各地からの批判を前に、毛沢東は国家主席を辞任したが、五九年夏の廬山会議での彭徳懷による批判に反発し、その意見書は「反党文書」とされた。しかし、大躍進の失敗は工業生産の低迷と、連年の大凶作を招き、飢餓に陥った人々の数は、二千万―五千万ともいわれている。

なぜこんなことが?と驚くばかりで、批判できないことの怖さを感じるばかり。学生時代に読んだ「人民公社は抜がり深まる」などを思い出した。

十二月はお休み。

次回は一月十八日、十三時半、府連で。

新たな気持ちで学びたい方のご参加をお待ちします。

(井手 淑子)



## 《中国伝統劇つれづれ》第七回 「観劇と食事」 藤野真子

中国で本格的な劇評が登場したのは一九一〇年代半ばのことだが、それまでは「劇評」「劇話」と題していても、単純な印象論や観劇「日記」とも言うべき文章が主流だった。後者には時々、書き手が観劇の前後に何かを食べた話が付随している。そこには、人に連れられて有名な菜館へ行った、名物の〇〇を酒と一緒に楽しんだ、といった記述が並ぶ。

上海滞在時の筆者は、原則、単独行動なので、観劇前後（だいたい「前」）の食事はいきおい簡単に済ませることになる。麵か、雲呑か、はたまたカプエか、それはどの劇場へ行くかによる。郊外だと周囲にファストフードしかないことも多く、白状すると最もお世話になったのは「肯德基」だった。ギリギリで現地入りした時は、とにかく早く出てきて、猫舌の筆者でも口にできるものを選ぶ（小籠包など論外である）。空腹のままだと、観劇途中で血糖値が下がり、集中できなくなってしまう。客席で食べても構わないのだが、間食ならまだしも、しつかり食事をしている観客は意外にもほとんどいなかった。マナー云々より、観劇に集中したい人が多いのだろう。

上海でいちばん足を運んだのは福州路の天蟾舞台だが、ここは人民広場のすぐそばで、地上にも地下にも商業施設が広がっていた。劇場の向かいにあるショッピングモールのフードコートで、大勢の人に囲まれて雲呑を食べながら、この中で観劇する人でどれぐらいいるのだろうか、などとよく考えたもの

である。また、劇場の裏手には一品ものの店が並んでいるが、ある日の夕方、蘇州麵の店で上海京劇院の若手トップ女優が関係者と食事しているのを見かけた。これから舞台のはずだが、やはり劇場の近くで食べるのか、このクラスの役者でもカジュアルに外へ出るのだな、などと思った記憶がある。

日戯（昼芝居）は週末のみの上演で、周辺の商圈は普段以上に人でごった返すため、店内での飲食は現実的ではない。ある時、手抓餅を一枚テイクアウトして歩きながら食べたが、思いのほか腹持ちしなかった。それが顔に出ていたのか、劇場に着くと、売店の店員に「お昼ちゃんと食べたん？」と声をかけられた。正直に答えると、「しつかり食べんとアカンやん！」と言われてしまった。さほど年は離れていなかったと思うが、異国で暮らす筆者のことを、彼女はいつも母親のように心配してくれた。



江南風の麵

## 中国の山旅（12） 西谷仁

多くの人は中国の桂林の漓江の川下りをした事があると思います。そこは中国の南方カルストの代表的な所でツアーで行くと大型の遊覧船で食事付きで行ったと思います。しかし中国の人はそんな事はしません。別の港から水面ぎりぎりの竹ボートで川下りをします。私はそれを2回しましたが、本当にすばらしい川下りでした。出発地の桂林は有名ですが本当に楽しめるのは終点の陽朔です。そこには十厘画廊や別の川下り、鵜飼や大規模な水中ショー、無数の鐘乳洞があります。

私は自転車をかりて効外へ行きました。が、スマホを持ってなく山中の道に迷いこんでしまいました。無灯火で行く人も車もあえず本当に困りましたが、やっと人家を見つけた道を教えてもらい帰る事が出来ました。今から考えるといい思い出です。





コロナ禍の台湾研究活動道中記(第20回)  
**自主待機期間(その4) 高橋孝治**

二〇二二年四月頃、台湾で一週間の自主待機期間となっても、生活必需品購入が目的であれば、バスや地下鉄など公共交通機関を使わない限りは、外出が許されていました。生活必需品購入目的のみとはいえ、自由に外出ができるのは何と素晴らしいことでしょう。しかし、当然に、外出してもレストランなどで食べることは許されておりません。全て持ち帰りにする必要があります。

なお、一応台湾の家ですので、家具や布団はついていました。しかし、台湾の家の初日の夜、ものすごく寒さを感じ、家に備え付けられていた布団だけでは耐えられなくなりました。幸い、その家から百メートルくらい歩いた場所に、二十四時間営業の何でも売っているマーケットがありました。生活必需品の購入が目的なら外出はできますが、既に午前二時くらいになっており、今から布団を買い足すのかなどいろいろと悩みました。しかし、結局、このままでは眠れないと思い、午前三時頃、マーケットに行き、掛け布団の追加と毛布を数枚買いに行きました。

台湾は南国とは言われていますが、四月上旬でもまだ夜は寒かったです。台湾は意外と真夏以外は、夜は寒かったりするので。台湾に行く方はこのあたりのことも注意した方がいいかと思います。そして、この一週間の自主隔離期間が終了すると、

やっと台湾内で自由な活動ができるわけなのですが、それでもまだいろいろとトラブルが発生します。  
 (続く)



当時の台湾の自宅近くの風景

※前回、台湾のレモンバーガーの写真を掲載しましたが、これは店内で食べるタイプのもので、掲載写真を誤っておりました。この時期は筆者は自宅隔離期間で、実際には持ち帰りのレモンバーガーしか購入できておりません。現実には、テイクアウトで買った食べ物を、自宅で記念写真を撮ることはしないもので、記事内容にそったレモンバーガーの写真がなかった点はお許しください。

淡江大学 日本政経研究所 訪問研究員(2022年) / 「高橋孝治 中国」でウェブを検索!

書呆子 (中国語で「本の虫」という意味)

「異議あり」アン・ライト、スーザン・デイクソン

山猫軒書房、2009年7月 A5版210p。表表紙：米

英の上級官僚、軍人らの良心の声と行動。戦争に黙

つていてはいけない。辞表が挟んであります。パウ

エル国務長官殿 「私が敢えて米国の外交官を辞め

る理由」A4p半(略)、(元陸軍大佐)。アン・ライ

トさんのプロローグ①「良心の実践者」こそ真の愛

国者です。②序文の執筆者…国務総省の国際安全

保障問題担当補佐官③等を務め、ベトナムに派遣さ

れた経験もあるダニエル・エルズバーク博士です。

③以下、九人の発言。例外的に8pと長いのは、イ

ギリス政府と議会。それ以外は、15p、12p、10p、

…と短文でわかり易い発言です。又、米軍司令部

高官たちからの政府批判も含まれています。

私がハツとしたのは①現在まだ有効である「先制

攻撃禁止法」を犯す権限は、政権にも議会にもあり

ません。②駐レバノン日本国特命全権大使 天木直

人さんの意見具申と、一か月後に、外務次官から「若

返りを図る人事のため」として、依願退職を求める

正式の通知を受け取りました。…首相(小泉)に対

抗して国政選挙に出馬したが…新聞やTVなどのメ

ディアが…天木氏の出馬を全く報道しなかったため

③天木氏は残念ながら小泉首相に敗れました。③

2009年4月 名古屋高裁は「航空自衛隊部隊が戦闘

地域であるバクダッドに武装した多国籍軍部隊を空

輸したのは…「憲法違反である」と判決を下しまし

た。…しかしながら日本政府当局は、判決の受け入

れを拒否しました。町村信孝内閣官房長官は、記者

会見で「このような判決は受け入れられない、判決

が、自衛隊の(イラクでの)活動に影響を与えるこ  
とはない」と述べました。民主主義の根幹、三権分  
立を政府が否定した驚くべき記者会見です。先に推  
薦した「朝鮮戦争の正体」と併せて読了されるよう  
推薦いたします。加えて、可能なら、「新しい戦前」  
この国のいま⑥を読み解く、内田樹・白井聡 朝  
日新聞出版 2023年9月 258pもお読みください。  
「予算ファシズムで見えにくい戦前まつしぐら」と  
の感想です。  
(中本学)



好評発売中！お申込は、京都府連または各支部まで  
**1200円 (送料350円)**



〔訃報〕興膳宏さん (京都大学名誉教授・  
府連宇治支部会員)

長く日中京都府連の会員であった興膳宏さん  
が十月十六日、死去されました。享年八十六歳。  
愛知教育大、名古屋大を経て京都大学、同大学院  
教授。文学部長、京都国立博物館館長を歴任。日  
本学士院会員(二〇一六年)、文化功労者(二〇一  
九年)。専門は中国六朝文学の研究、『新版中国の  
文学理論』『中国文学理論の展開』など著訳書多  
数。

京都大学では職員組合委員長も務められ、「日  
中友好新聞」にも執筆されました。  
昨年、宇治支部設立の際には宇治支部への移籍  
を快諾されましたが、設立総会への参加は足腰が  
不自由でということと辞退されていました。